



2024年5月14日

各 位

会社名 株式会社 フレアス
代表者名 代表取締役社長CEO 澤登 拓
(コード番号: 7062 東証グロース)
問合せ先 執行役員財務経理部長 関根真一郎
(Tel. 03-6632-9210)

中期経営計画（2025～2027）の策定に関するお知らせ

当社は、2025年3月期を初年度とし、2027年3月期までの3カ年を対象とした中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、「日本の在宅事情を明るくする」というビジョン達成に向け、市場環境を踏まえながら施設系介護サービス事業（ホスピス事業及び看護小規模多機能型居宅介護事業）と在宅マッサージ事業を両輪として、2027年3月期の売上高16,678百万円、営業利益2,001百万円を目指してまいります。この目標に向かって全社一丸となって、2027年3月期までの本中期経営計画を推進していく所存であります。株主様をはじめとするステークホルダーの皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 基本方針

当社経営ビジョン「全国津々浦々に一人でも多くの方に速やかにフレアスのサービスを提供し、日本の在宅事業を明るくする」に基づき、自主・自立的な組織として、療養から看取りまでカバーする複数の事業を柱に育て上げ、日本の在宅事情を総合的に支援する企業を目指します。

2. 事業戦略・主要施策

①施設系介護サービス事業（ホスピス事業及び看護小規模多機能型居宅介護事業）

・施設の積極出店及び垂直立ち上げ体制の構築

主にホスピス施設の積極的な出店を継続し、連続出店に対応できる組織・体制作りとノウハウを蓄積します。新規出店から満床稼働までの時間を短縮し、施設の早期黒字化を目指します。

・営業強化及び人材育成と確保

専任の営業チームである地域連携課を創設し、営業担当を増員・育成することにより、新規利用者獲得を強化します。新規出店スピードが鈍化しないよう、マネジメント層の育成及び専門職の積極採用を目指します。

②マッサージ直営事業

・エリア狭小化及び生産性の高い事業運営

訪問エリアの狭小化を進め、訪問の効率化を図ります。また、介護施設運営法人との関係性を強化し、生産性の高い事業運営を行い、安定的な成長を目指します。

- ・営業強化

施設系介護サービス事業の地域連携課とのシナジー効果を発揮するとともに、営業専門職を増員し、新規利用者獲得の促進を目指します。

③フランチャイズマッサージ事業

- ・新規加盟の促進及び既存加盟店の支援強化

新規加盟については、新たな新規契約パッケージを導入し、新規加盟の促進を目指します。また、2024年6月に施行される療養費改定に対応しつつ、施術者生産性の改善及び介護運営法人との連携を強化し、既存加盟店の収益拡大を目指します。

④その他の事業（主に訪問看護事業）

- ・生産性の改善及び訪問リハビリ強化

新規出店は行わず、既存拠点の新規利用者獲得の推進及び看護師・理学療法士の生産性改善による収益増を目指します。

3. 経営指標目標

(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
売上高	8,062	10,962	16,678
営業利益	200	539	2,001

4. 2027年3月期 拠点数目標

	ホスピス	看多機 (※)	在宅マッサージ 直営	在宅マッサージ フランチャイズ	訪問看護等	合計
拠点数	26	12	80	412	9	539

※看護小規模多機能型居宅介護

以上



中期経営計画

2025年3月期～2027年3月期

2024年5月

株式会社フレアス(東証グロース:7062)



INDEX

会社概要

セグメント説明

中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）

市場動向

サステナビリティ経営

会社概要

MISSION

日本の在宅事情を明るくする



私たちは、全国津々浦々に一人でも多くの方に
速やかにフレアスのサービスを提供し、在宅療養をされている方の
「時間の価値の最大化」を支援したいと考えています。

会社概要

社名：株式会社フレアス Fureasu Co.,Ltd.

代表：代表取締役社長CEO 澤登 拓

本店：山梨県中巨摩郡昭和町西条1514番地

本社：東京都品川区西五反田2丁目27-3 A-PLACE五反田ビル3階



設立
2002年

〔創業 2000年7月〕



上場
2019年



従業員数
834名

〔2024年3月31日現在〕



拠点数
433拠点

〔2024年3月31日現在〕



資本金
295(百万円)

〔2024年3月31日現在〕

売上規模
5,710(百万円)

〔2024年3月期〕

セグメント説明

事業内容 (4つの事業セグメント)



マッサージ直営事業



マッサージフランチャイズ事業



施設系介護サービス事業



その他の事業



屋号

「フレアス在宅マッサージ」

「フレアス在宅マッサージ」
「レイス治療院」

「フレアスメディカルケアホーム」
「フレアス看護小規模多機能」
「SKYHEART看護小規模多機能」

「フレアス訪問看護ステーション」
「フレアスヘルパーステーション」
「スカイハート」

拠点数

85拠点

〔2024年3月31日現在〕

328拠点

〔2024年3月31日現在〕

11拠点

〔2024年3月31日現在〕

9拠点

〔2024年3月31日現在〕

保険区分

医療保険適用
(医師の同意書必要)

医療保険適用
(医師の同意書必要)

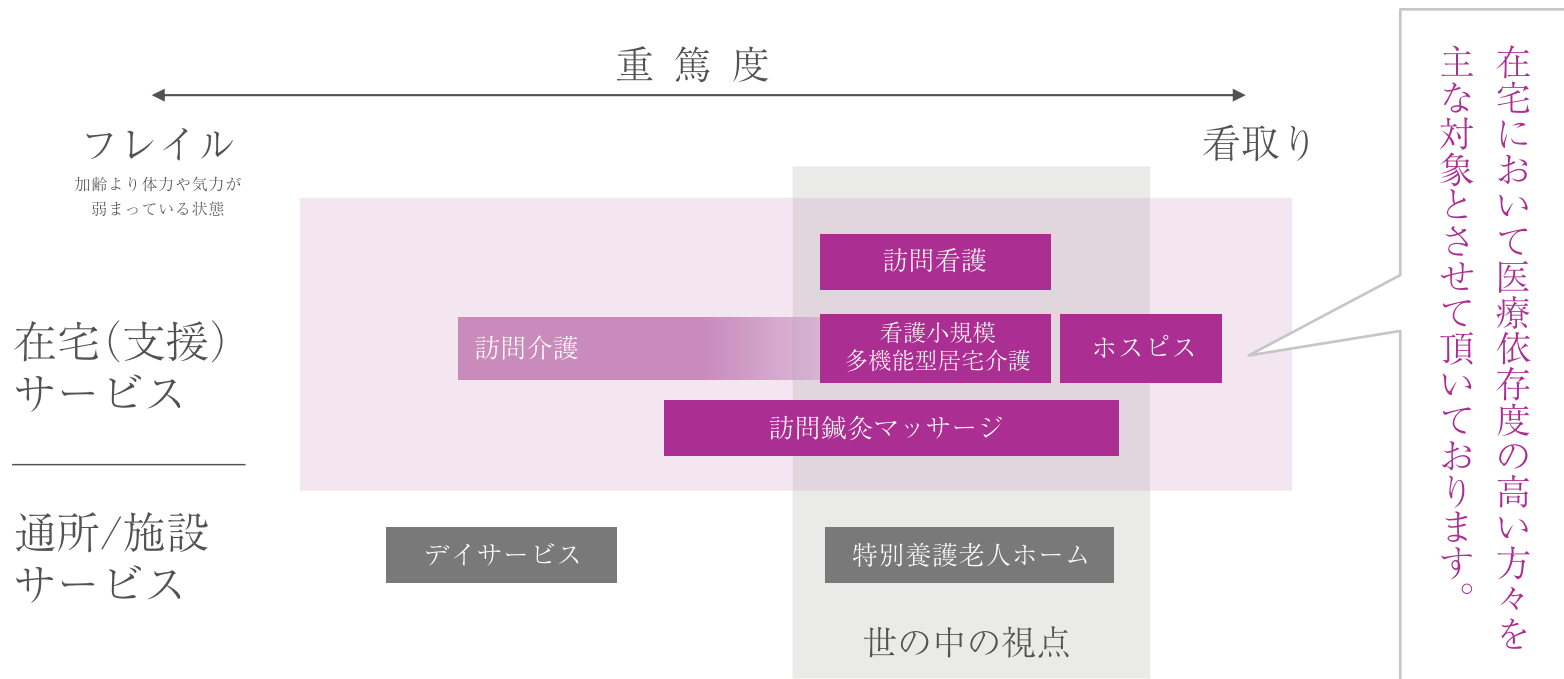
医療保険、介護保険適用
(適用条件あり)

介護保険適用
(介護保険法により、要支援、
又は要介護と認定された方)

※「フレアスメディカルケアホーム」は、ホスピス施設を指します。

※次項以降記載の「看多機(かんたき)」の表記は、看護小規模多機能型居宅介護を指します。

事業領域の考え方(療養から看取りまで)



当社の特徴

訪問鍼灸マッサージ



看多機 (看護・介護・リハビリ)



ホスピス (看護・介護・リハビリ)



病院



ご自宅



施設

入退院から看取りまで、最期までその人に寄り添います

中期経営計画

2024年3月期の振り返り（グループ全体）

(百万円)	2023/3期	2024/3期	対前年増減額	対前年同期比
	実績	実績		
売上高	4,584	5,710	1,125	+24.6%
売上原価	2,346	3,015	669	+28.5%
売上総利益	2,238	2,694	456	+20.4%
販管費	2,223	2,584	360	+16.2%
営業利益	14	110	95	+647.5%
営業外収益	71	59	▲12	▲17.6%
営業外費用	15	43	27	+174.0%
経常利益	70	126	55	+78.6%
当期純利益	31	58	26	+84.6%
1株あたり当期純利益	13.45	24.78	11.33	+84.2%
売上高総利益率	48.8%	47.2%	-	▲1.6pt
営業利益率	0.3%	1.9%	-	+1.6pt
経常利益率	1.6%	2.2%	-	+0.6pt

マッサージフランチャイズ事業
ロイヤリティ収入増加

看多機・ホスピス新拠点開設
売上高+24.6%増収
(前年同期比)

営業利益110百万

新規事業の先行投資による開設時赤字計上も、
コロナ5類移行によるマッサージ直店事業と
マッサージフランチャイズ事業により改善へ

2024年3月期の振り返り（セグメント別）



マッサージ直営事業



マッサージフランチャイズ事業



施設系介護サービス事業



その他の事業

	マッサージ直営事業	マッサージフランチャイズ事業	施設系介護サービス事業	その他の事業
売上高	3,525(百万円) 〔2024年3月期実績〕	889(百万円) 〔2024年3月期実績〕	878(百万円) 〔2024年3月期実績〕	416(百万円) 〔2024年3月期実績〕
〔対前年同期比〕	+8.9%	+25.9%	+341.3%	▲5.9%
営業利益	999(百万円) 〔2024年3月期実績〕	224(百万円) 〔2024年3月期実績〕	▲285(百万円) 〔2024年3月期実績〕	21(百万円) 〔2024年3月期実績〕
〔対前年同期比〕	+29.7%	+4.9%	—	—

2027年3月期に当社が目指す姿

取り巻く市場環境

- ・65歳以上人口のピークが到来
- ・65歳以上の単独世帯増加
- ・看取り難民約47万人
- ・医療・介護の複合ニーズの高まり
- ・多死社会の到来



療養から看取りまで
カバーすることで、
在宅領域を総合的に支援する
企業を目指す

「療養生活になっても
自分らしく過ごせる」



2027年3月期の目標数値(グループ全体)



売上高
16,678百万円

2024年3月期 / 5,710百万円

営業利益
2,001百万円

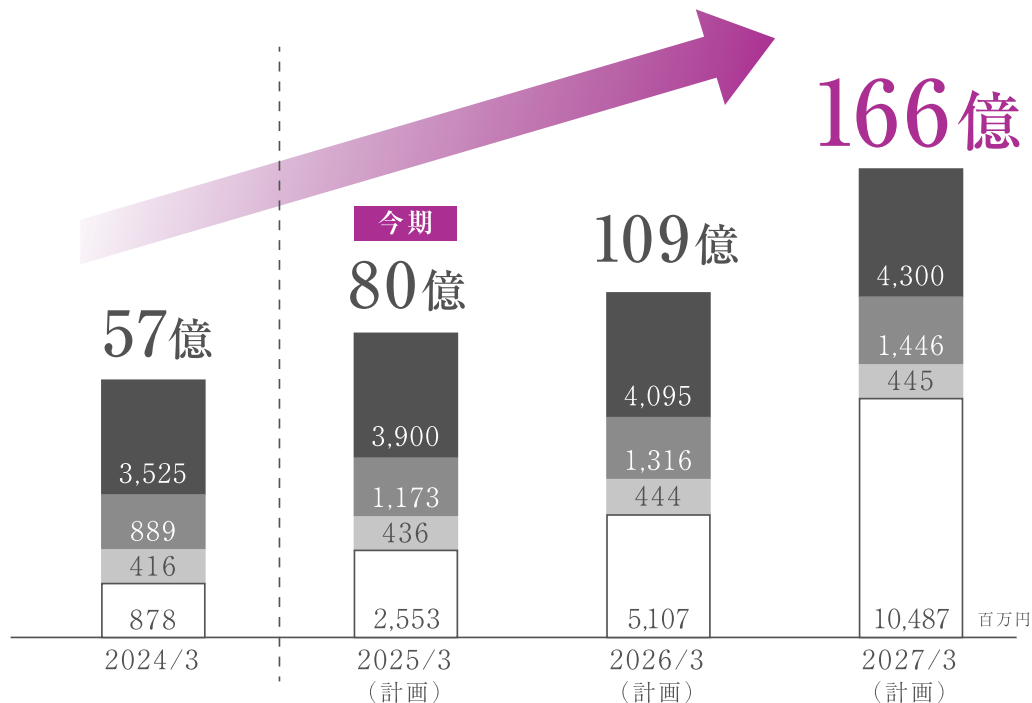
2024年3月期 / 110百万円

経常利益
1,485百万円

2024年3月期 / 126百万円

(百万円)	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期	CAGR
	実績	計画	計画	計画	
売上高	5,710	8,062	10,962	16,678	+42.9%
営業利益	110	200	539	2,001	+163.0%
経常利益	126	79	194	1,485	+127.6%
売上高対前年比	124.6%	141.2%	136.0%	152.1%	-
営業利益率	1.9%	2.5%	4.9%	12.0%	-
拠点数	433	455	499	539	-

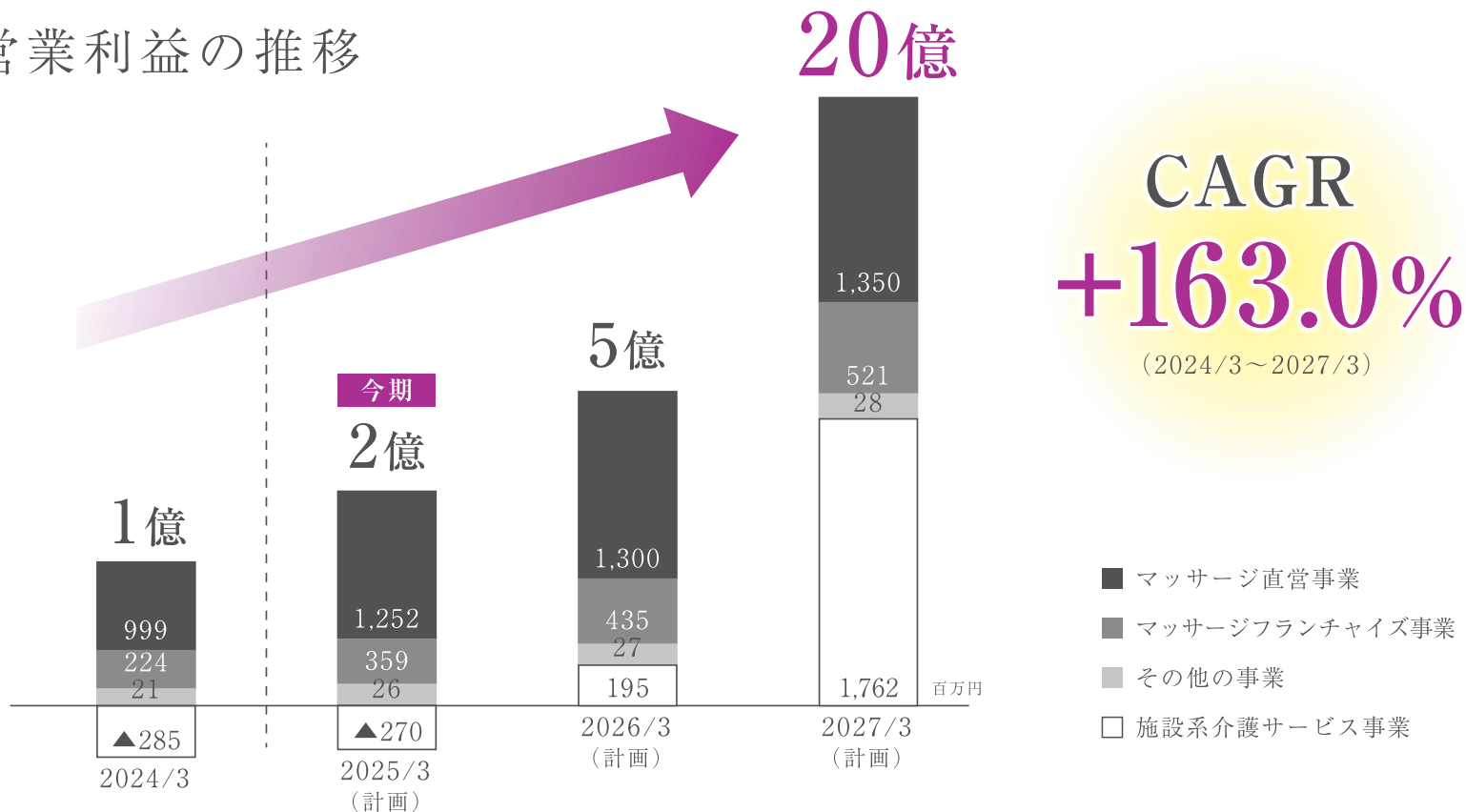
売上高の推移



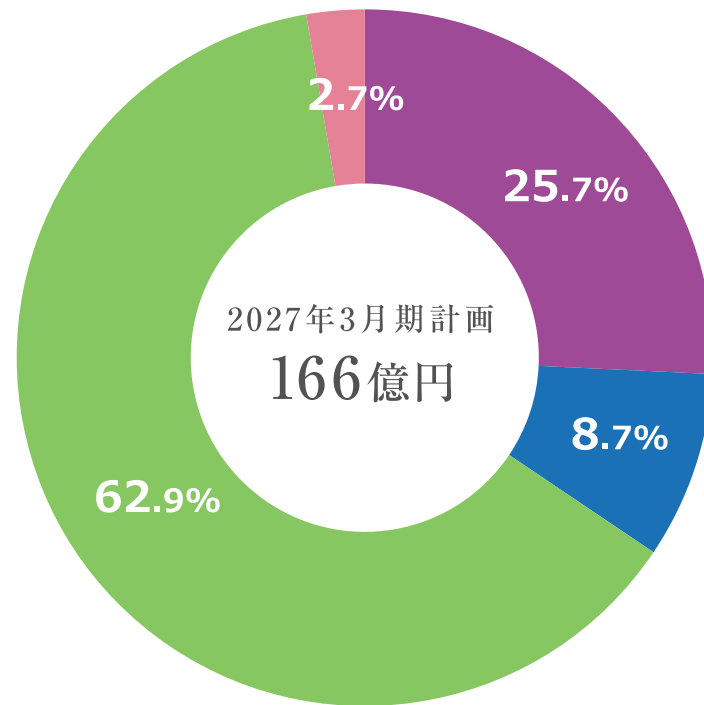
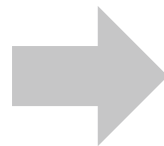
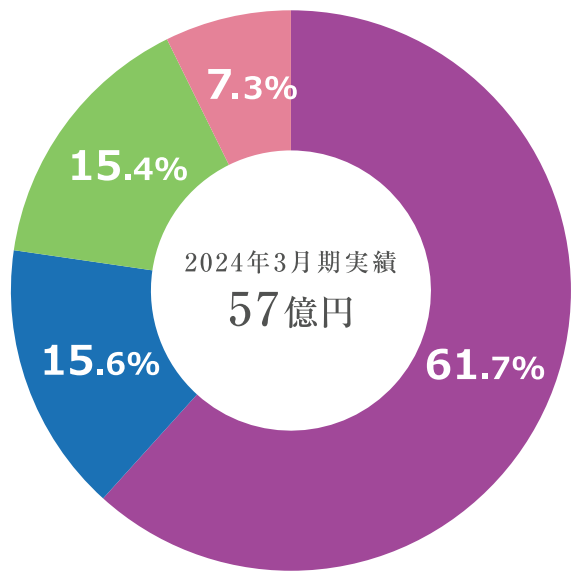
CAGR
+42.9%
 (2024/3~2027/3)

- マッサージ直営事業
- マッサージフランチャイズ事業
- その他の事業
- 施設系介護サービス事業

営業利益の推移



セグメント別の売上構成内訳



■ マッサージ直営事業
 ■ マッサージフランチャイズ事業
 ■ 施設系介護サービス事業
 ■ その他の事業

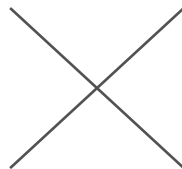
施設系介護サービス事業

事業戦略と主要施策

事業戦略

積極的出店・ 垂直立ち上げ体制の 構築

積極的に新規出店を継続
連続出店に対応できる
組織・構造創りとノウハウを蓄積し、
早期黒字化を実現する



主要施策

営業強化・ 人材育成と確保

地域連携課を創設し、営業担当増員・
育成し、新規ご利用者獲得を強化
マネジメント層の育成、
施設系専門職の積極的採用

施設系介護サービス事業

目標数値(2027年3月期計画)

売上高
10,487百万円

2024年3月期 / 878百万円

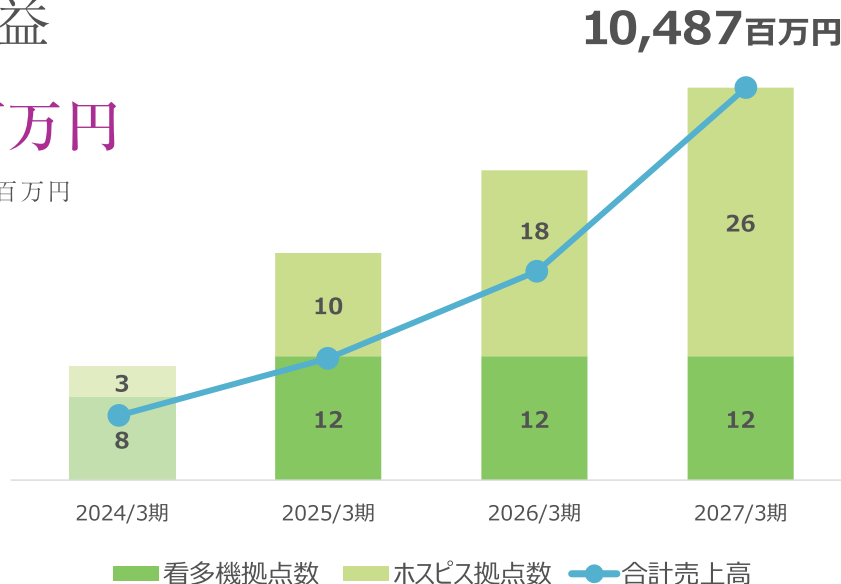
営業利益
1,762百万円

2024年3月期 / ▲285百万円

10,487百万円

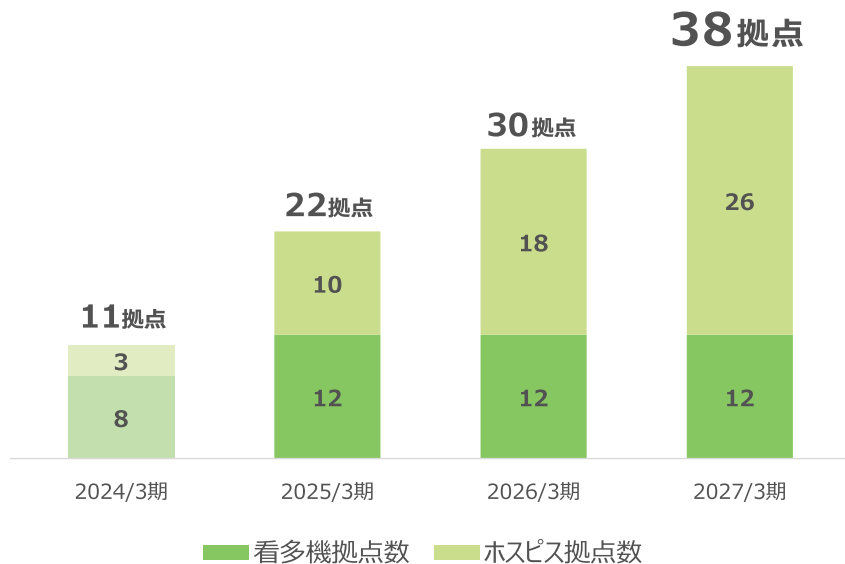
(百万円)	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期
	実績	計画	計画	計画
売上高	878	2,553	5,107	10,487
営業利益	▲285	▲270	195	1,762
売上高対前年比	441.2%	290.6%	200.0%	205.3%
営業利益率	-	-	3.8%	16.8%
設備投資額	1,147	2,345	4,907	5,221

※設備投資額はリース資産の金額を記載しております。



施設系介護サービス事業

拠点目標値(2027年3月期計画)



目標値
38拠点

[2027年3月期計画]

+27

内訳

看護機12拠点(+4)
ホスピス26拠点(+23)



施設系介護サービス事業

施設の開設予定(2025年3月期)

第1Q

フレアスメディカルケアホーム板橋西台
フレアス看護小規模多機能 板橋西台



フレアスメディカルケアホーム四季の森公園
フレアス看護小規模多機能 四季の森公園



第3Q

フレアスメディカルケアホーム
小田原



第2Q

フレアスメディカルケアホーム草加
フレアス看護小規模多機能 草加



フレアスメディカルケアホーム厚木
フレアス看護小規模多機能 厚木



第4Q

フレアスメディカルケアホーム
四日市あさけ



フレアスメディカルケアホーム
静岡葵



施設系介護サービス事業

雇用職種別スタッフ数(2027年3月期計画)

(人)	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期
	実績	計画	計画	計画
看護師	75	178	327	483
正社員	36	118	229	344
アルバイト・パート	39	60	98	139
介護スタッフ	97	230	333	439
正社員	72	125	208	294
アルバイト・パート	25	105	125	145
合計	172	408	660	922
正社員	108	243	437	638
アルバイト・パート	64	165	223	284



看護師・介護スタッフ
(正社員・アルバイト・パート)

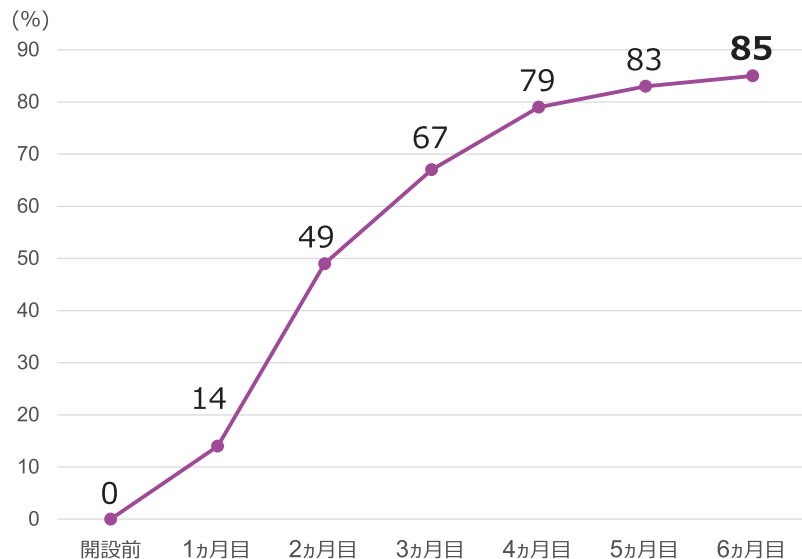
合計922名

2027年3月期末時点見込み

※介護スタッフ…介護福祉士・実務者研修修了者・
初任者研修修了者・ヘルパー・サービス提供責任者含む

施設系介護サービス事業

開設からの想定稼働率(ホスピス48室モデルの場合)



稼働率(6ヵ月目)

85%

$$\text{稼働率} = \frac{\text{延べ利用者数}}{\text{入居可能数}}$$

早い集客スピードと安定的な
集客力によって高稼働率を想定

施設系介護サービス事業

ホスピス施設の売上構造

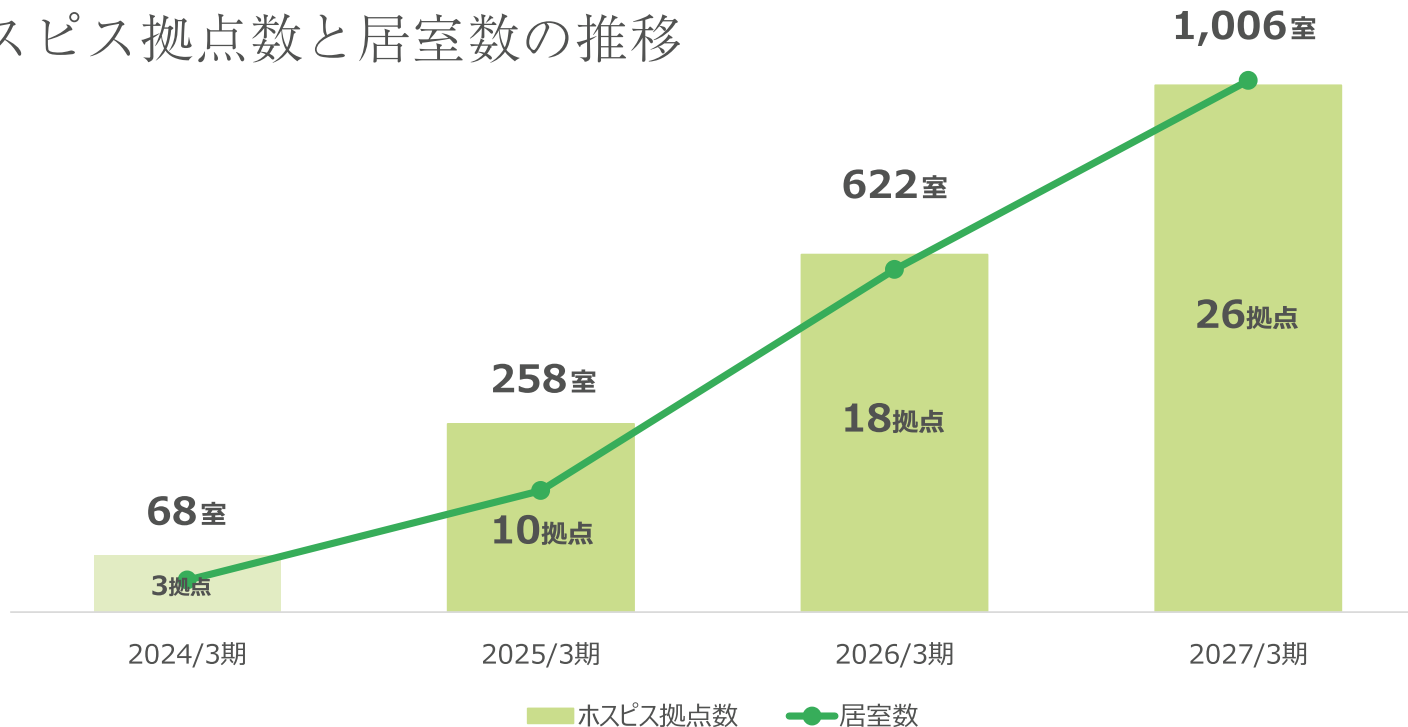


単価内訳



施設系介護サービス事業

ホスピス拠点数と居室数の推移



施設系介護サービス事業

ホスピス施設における成長要因

既存上場企業の
居室合計値**

約8,700室

まだまだ足りていないのが実情

看取り難民
約47万人※
(2030年予想)

ポイント



看取り難民の
受け入れ先としての
成長可能性

※出所:厚生労働省:今後の看取りの場所(2009年)

** ホスピス既存上場企業4社の居室数(定員数)の合計値:2024年5月時点開示数値(自社調べ)

施設系介護サービス事業

ホスピス施設の開設戦略

エリア



札幌・仙台・新潟・浜松

東日本

高齢化の加速にエリアに
開設を進める

床数規模



中規模施設

48室運営

20~28室の小規模開設からの
転換を実施

開設方法



土地 + 建物

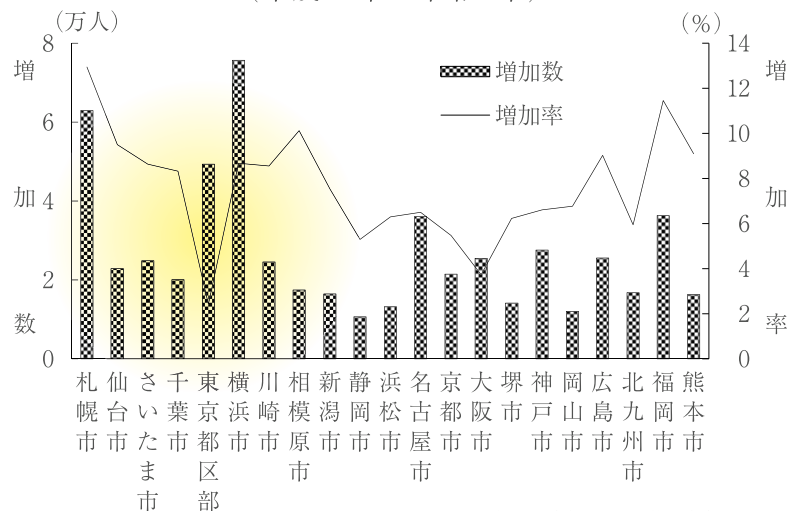
建て貸し

その他M&Aや自社建ても
検討へ

施設系介護サービス事業

ホスピス施設の開設戦略(エリアに関して)

21大都市の高齢者の増加数及び増加率
(平成27年～令和2年)



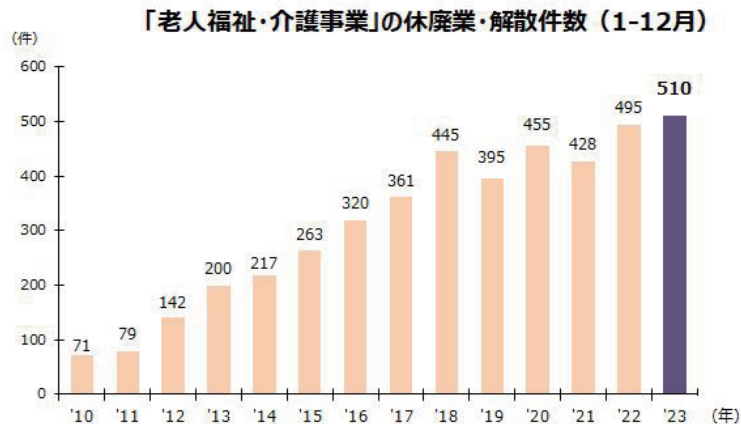
※出所:総務省統計局「国勢調査」

東日本エリアにおいては、
**札幌市・仙台市・
新潟市・浜松市**が
地方都市として高齢者数が
大きく増加 ➡ 開設を計画・検討

施設系介護サービス事業

ホスピス施設の開設戦略（開設方法に関して）

2023年「老人福祉・介護事業」の休廃業・解散は510件（前年比3.0%増）、2010年以来の過去最多を更新



大型施設の
サービス付き高齢者向け
住宅や有料老人ホームを

M&A

既存の建物を再利用し
開設を早期に実現

再利用

施設系介護サービス事業

当社ホスピス施設の特徴



外部ケアマネ比率
100%

自社ケアプランを持たないことで
過剰なサービス提供や
請求を抑制し、
介護報酬への適正化を図る



**トリプル
チェック体制**

適切な報酬運用(コンプライアンス)
施設全フロア監視カメラを配置
職員とご利用者様の安全を見守る
のみならず、保険請求上の行動管理
にも活かし、透明性ある請求を実現



**施設従業員
の定着**

業界最高水準の待遇・
社内外研修制度の充実・
やりたいことの実現(自主自立)に
より従業員の定着を実現



施設リファラル
採用率**15.5%**

従業員満足度の向上に伴って
各施設における従業員のリファラル
採用が活発化
※2024年3月期実績

施設系介護サービス事業

従業員満足度の向上



休みの充実

時間単位有給の使用が可能
入社時特別休暇付与
(入社半年5日間)



有給休暇取得率
100%

※年間5日間以上



社内 表彰制度

※年13回の実施



企画運営 裁量の移譲

レクリエーションや
イベント等は施設単位で

施設系介護サービス事業

イベントやレクリエーションの充実

自宅のような温もりのある環境で「その人らしく」を実現



既存施設での実施例：

- ◆ クレープ屋の招致
- ◆ ピザパーティー
- ◆ 移動スーパー
(月2回の定期訪問)

小中規模による手厚いケア体制で、ひとり一人にしっかり向き合いたいという職員のニーズと、顧客のそれぞれの個別ニーズに応えやすく、顧客と従業員の満足度を向上

施設系介護サービス事業

痛みの緩和や心地よさを提供するホスピス



慢性疼痛の名医による 医療監修



慢性疼痛の名医による無料オンライン定期相談を実施
遠方にながら、都内にいる痛みのスペシャリストに相談可能



グループ事業の 鍼灸マッサージの導入

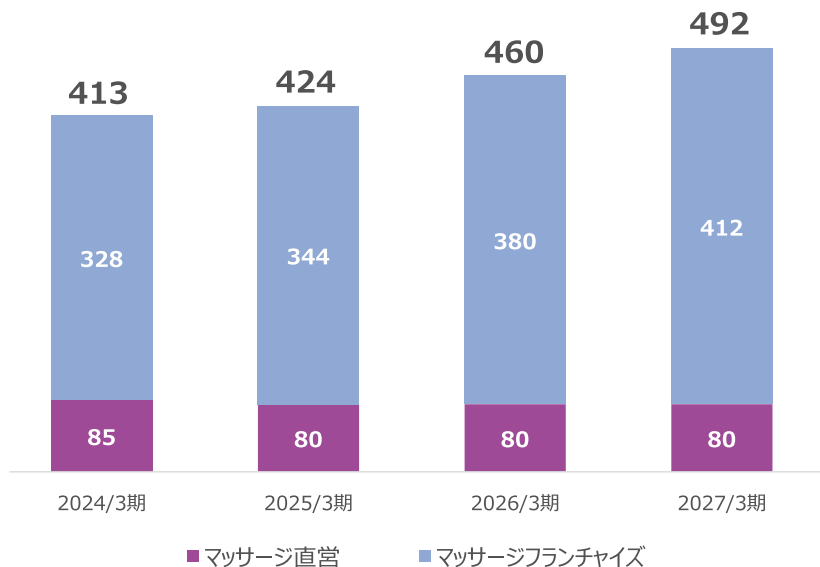


鍼灸マッサージによる緩和施術を取り入れ、機能訓練の実施、
拘縮がある方などのお体に合わせた施術を提案

マッサージ直営事業

マッサージフランチャイズ事業

拠点目標値(2027年3月期計画)



目標値

492拠点

[2027年3月期計画]

+79

内訳

マッサージ直営 80拠点(▲5)
 マッサージFC 412拠点(+84)

マッサージ事業は
 全国47都道府県に展開達成
 ※直営店・FC店を合わせて(2023年8月末時点)

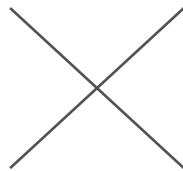
マッサージ直営事業

事業戦略と主要施策

事業
戦略

エリア狭小化・ 高生産性の事業運営

訪問エリアの狭小化を進め、
効率化を図る
特定施設との関係性を高め、高生産性の
事業運営を行い、安定的な成長へ



主要
施策

グループ内施設の 地域連携・営業強化

フレアスグループ内
施設系介護事業の地域連携との
シナジー効果を発揮すると同時に、
営業専門職を増員、新規獲得を促進

マッサージ直営事業

目標数値(2027年3月期計画)

売上高

4,300百万円

2024年3月期 / 3,525百万円

営業利益

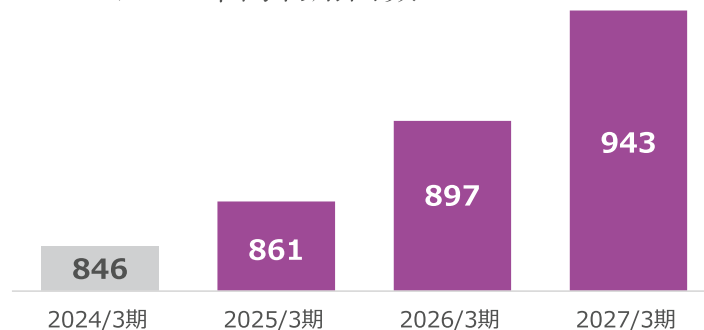
1,350百万円

2024年3月期 / 999百万円

(百万円)	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期
	実績	計画	計画	計画
売上高	3,525	3,900	4,095	4,300
営業利益	999	1,252	1,300	1,350
売上高対前年比	108.9%	110.6%	105.0%	105.0%
営業利益率	28.3%	32.1%	31.7%	31.4%

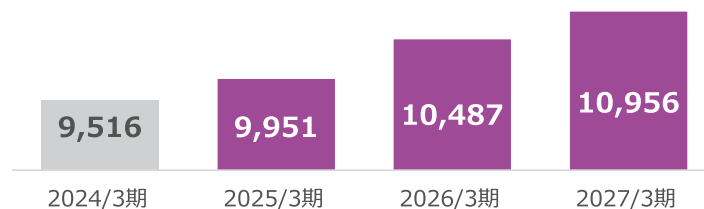
マッサージ年間利用回数

(千回)



総レセプト数

(件)



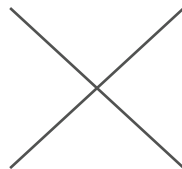
マッサージフランチャイズ事業

事業戦略と主要施策

事業
戦略

新店舗出店・ 既存店成長速度加速

新たな加盟パッケージを導入
引き続き新規加盟を促進
施術者生産性を改善、特定施設契約を
拡大し、既存店の収益規模を拡大へ



主要
施策

特定施設の強化・ スーパーバイザー増強

本部主導研修を導入することで
特定施設強化を図る
施術者生産性など重点指標に着目・指導
する仕組みを構築し、SV増員を図る

マッサージフランチャイズ事業

目標数値(2027年3月期計画)

売上高

1,446百万円

2024年3月期 / 889百万円

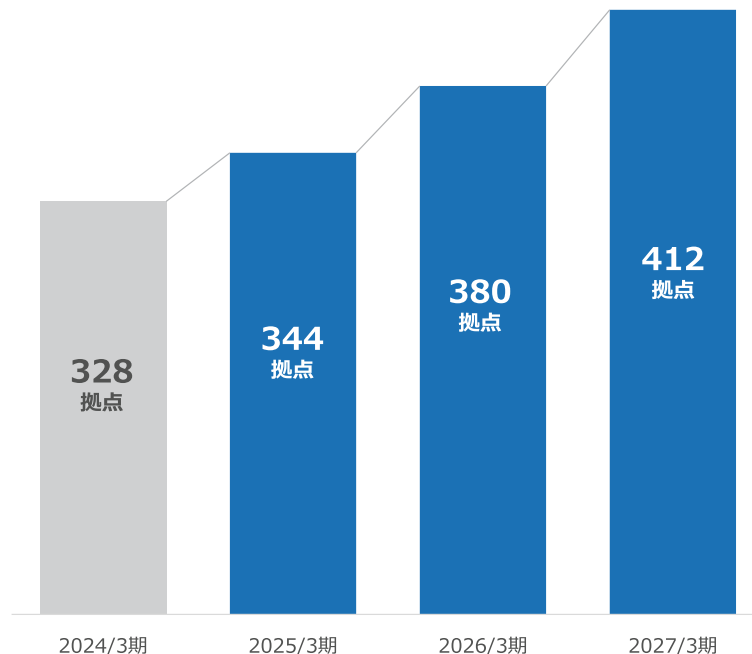
営業利益

521百万円

2024年3月期 / 224百万円

(百万円)	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期
	実績	計画	計画	計画
売上高	889	1,173	1,316	1,446
営業利益	224	359	435	521
売上高対前年比	125.9%	131.9%	112.2%	109.9%
営業利益率	25.3%	30.7%	33.1%	36.0%

マッサージフランチャイズ拠点数推移



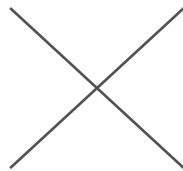
その他の事業(訪問看護・訪問介護)

事業戦略と主要施策

事業
戦略

生産性改善・ リハビリ強化

新規出店は行わず、既存店の利用者獲得
促進・看護師/療法士の生産性改善
リハビリを促進し、そこから看護に繋げ
営業フローを構築



主要
施策

ケア比率による 生産性改善・営業強化

個人別・拠点別にケア比率管理を強化し
生産性を改善
新人研修時に営業に関わる項目を追加
新規獲得営業が可能な体制を構築

その他の事業(訪問看護・訪問介護)

目標数値(2027年3月期計画)

(百万円)	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期
	実績	計画	計画	計画
売上高	416	436	444	445
営業利益	21	26	27	28
売上高対前年比	94.1%	104.6%	101.8%	100.2%
営業利益率	5.1%	6.0%	6.1%	6.3%

売上高

445百万円

2024年3月期 / 416百万円

営業利益

28百万円

2024年3月期 / 21百万円

市場動向

市場動向

人口動態



高齢化率

35.3%

〔2040年推計〕

65歳以上人口ピークが到来

世帯構成



高齢単独世帯

13.5%

〔2040年推計〕

65歳以上の単独世帯が増加

国難



看取り難民

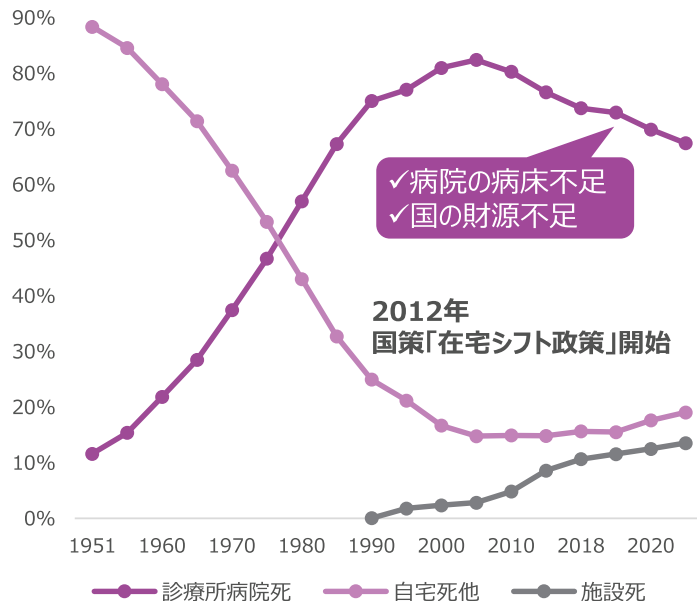
約47万人

〔2030年予測〕※

看取り先は在宅ヘシフト

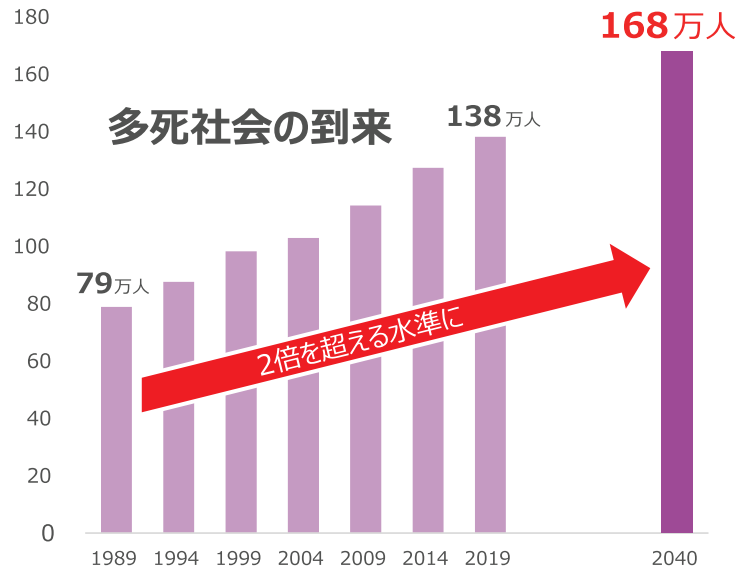
当社が得意とする「療養から看取りまで」の総合的ニーズが今後も高まる

死亡場所(構成比)の年次推移

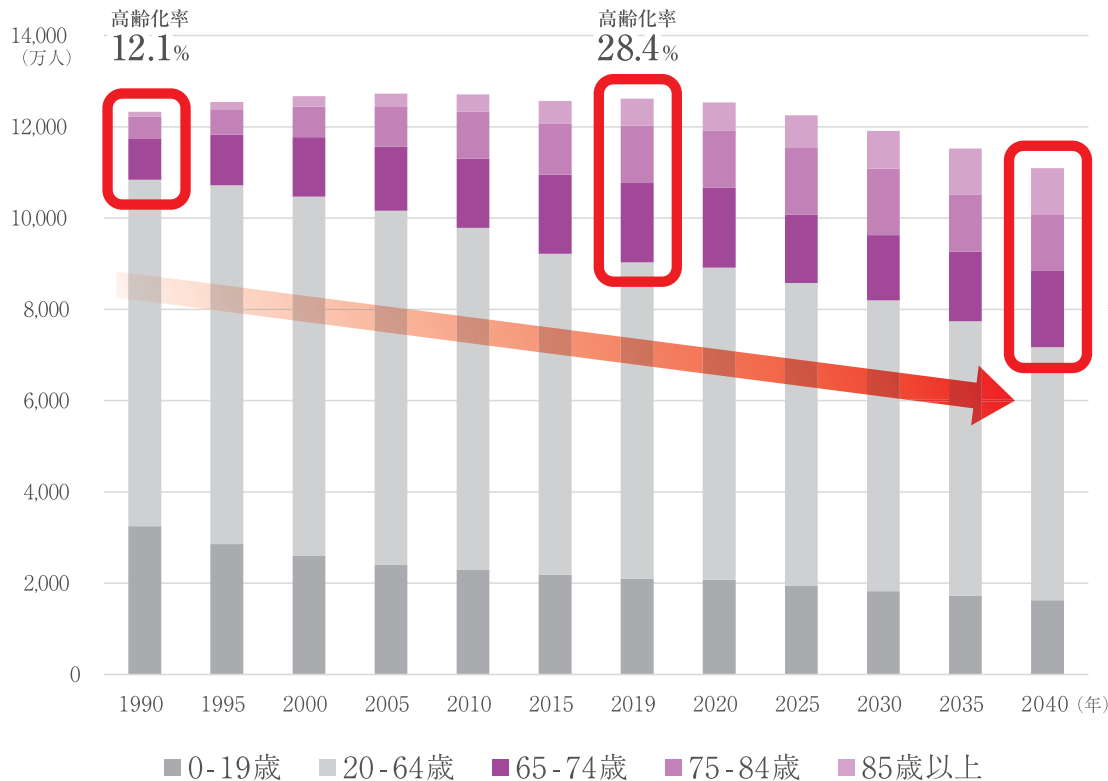


※出所:厚生労働省「令和4年度厚生統計要覧」

死亡数の推移



※出所:厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室「人口動態統計」(2019年については月報年計(概数))、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」における出生中位・死亡中位推計。「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた死亡・死産の全数を対象としている。



人口動態



高齢化率

35.3%

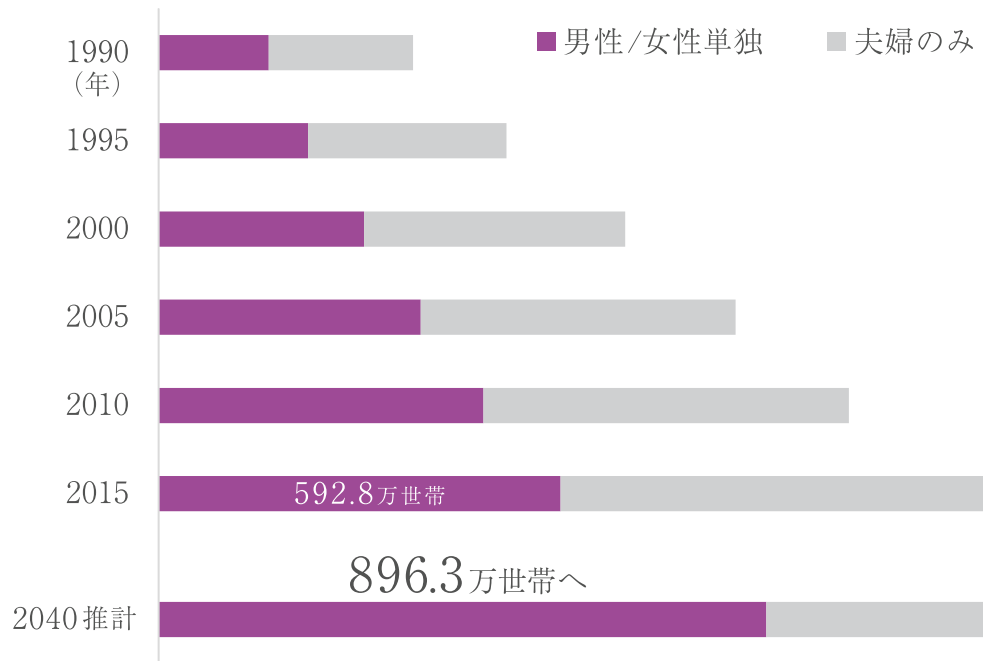
〔2040年推計〕

65歳以上人口ピークが到来

高齢化の進展

※出所：厚生労働省「令和2年版厚生労働白書-令和時代の社会保障と働き方を考える-(本文)」

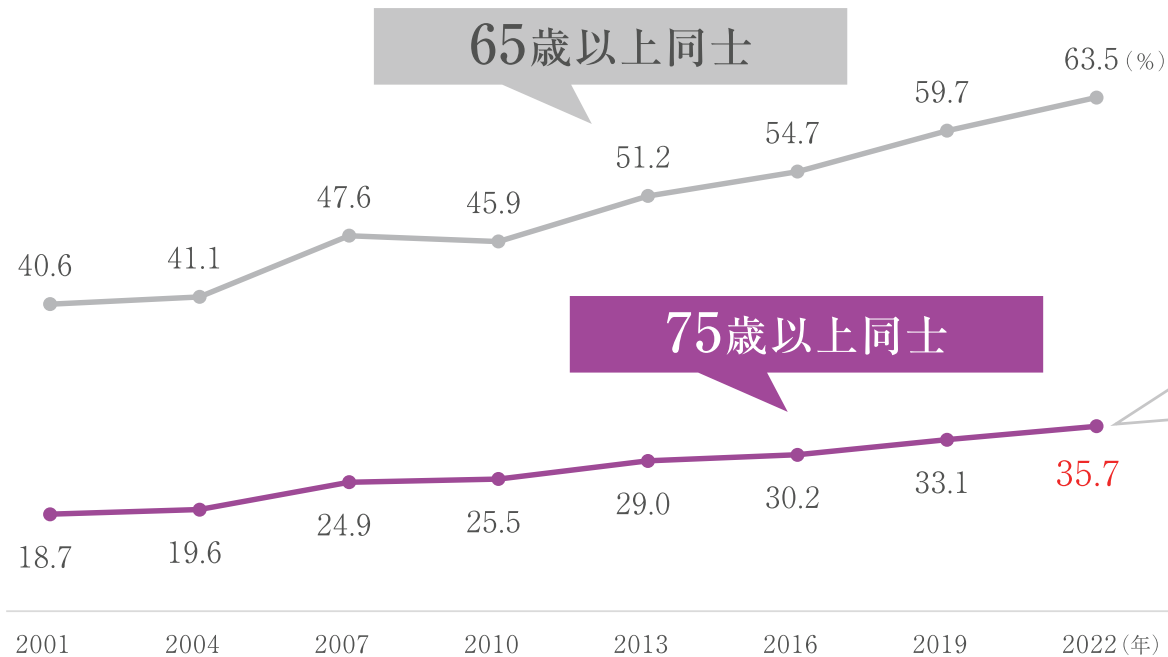
※2015年までは総務省統計局「国勢調査」、2019年は総務省統計局「人口推計」による10月1日確定値、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究「日本の将来推計人口(平成29年推計)」における出生中位・死亡中位推計。



世帯構成

高齢単独世帯
13.5%
〔2040年推計〕
65歳以上の単独世帯が増加

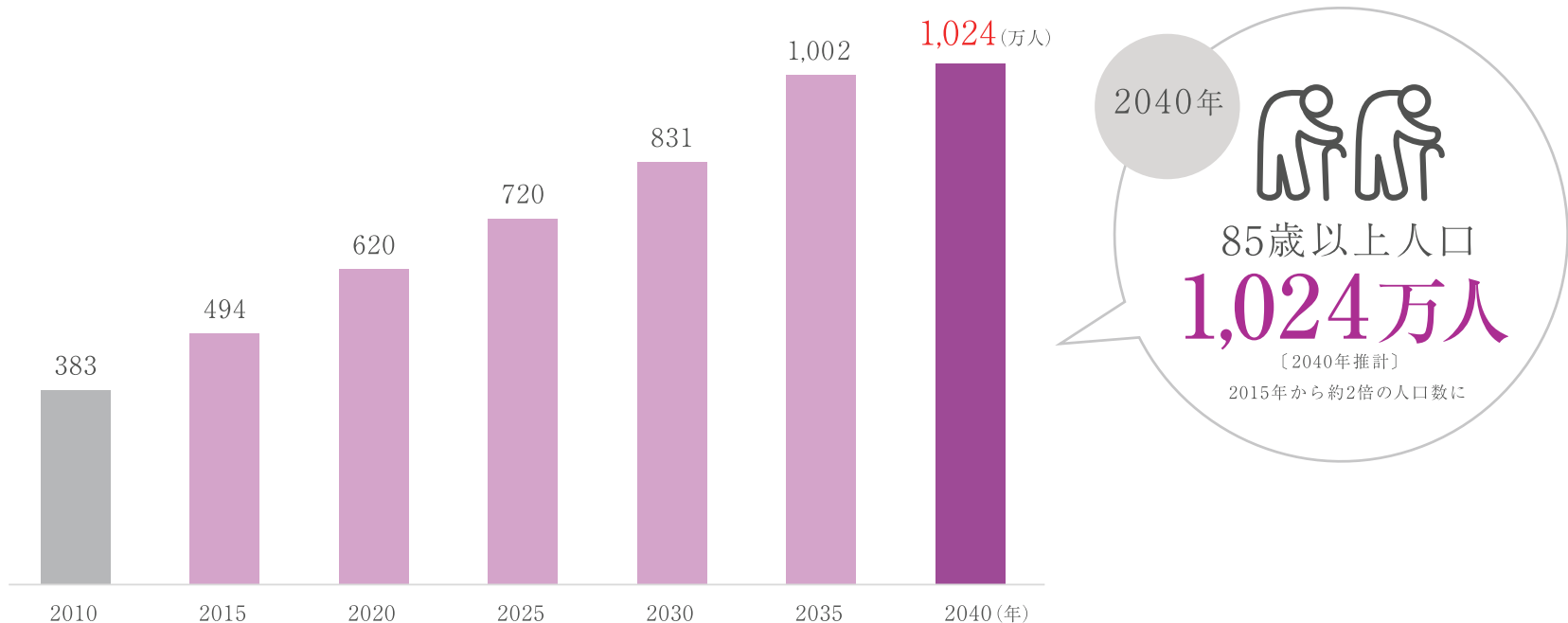
認知症・孤独死・フレイルの出現などのリスクが高まる



老老介護率
35.7%
〔2022年〕
75歳以上同士の割合

※出所：厚生労働省「国民生活基礎調査」2022年

医療・介護の複合ニーズ高まる**



※出所：厚生労働省「意見交換会の基礎資料」資料

**医療費について受診率をみると、入院外は年齢があがるとともに上昇し80～84歳がピークであり、入院は65歳以上急増。介護認定率も85歳以上で急昇。(厚生労働省老健局「地域包括ケアシステムの推進」から引用)

サステナビリティ経営

13 気候変動に
具体的な対策を



環境

Web響システム導入によるペーパーレス

紙の大量消費を抑え、CO2の排出削減や森林伐採を抑制

5 ジェンダー平等を
実現しよう



多様性

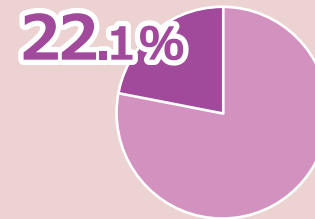
女性が活躍できる 職場環境の整備促進

女性管理職割合: 22.1%(課長職以上)
産休・育休後の時短就労を制度化



当社の管理職男女比率

(2024年3月末時点 前年比+5.7%)



※厚生労働省 2022年度雇用均等基本調査 女性管理職12.7%

11 住み続けられる
まちづくりを



社会貢献

看多機・ホスピスの新規開設

看取り難民ゼロを目指して、
毎年複数拠点新規開設

地域雇用の創出

国内各地新規出店による雇用創出

8 働きがいも
経済成長も



ワーク・ライフ・バランス

資格取得支援制度の導入

看多機に係る資格
(初任者・実務者・支援専門員研修) の取得を支援

メンター制度の導入

新入社員が相談しやすい環境を創出→離職率改善へ

時間有給休暇取得制度の導入

1時間単位での取得が可能に、
誰もが働きやすい環境を創出

入社時特別休暇制度の導入

入社時に5日間の休暇を取得可能に

8 働きがいも
経済成長も

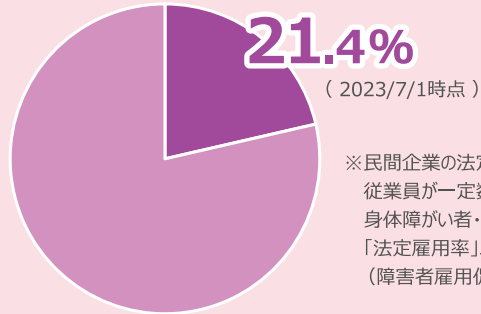
10 人や国の不平等
をなくそう

人材

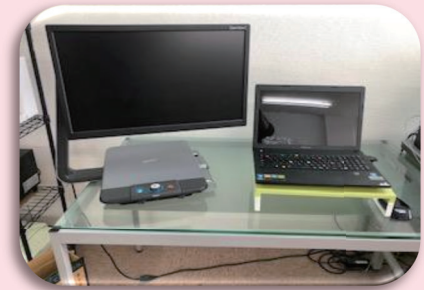
視覚障がい者の活用

鍼灸マッサージ師として自立支援を促し、
第一線で戦力としての活躍する場を提供
音声読み上げ機能のついた電子機器や補助器具を貸与
パソコン(PCトーカー)、携帯電話(らくらくホン)、iPad、拡大鏡など

当社の障がい者雇用比率



※民間企業の法定雇用率2.3%
従業員が一定数以上の規模の事業主は、従業員に占める
身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者の割合を
「法定雇用率」以上にする義務があります。
(障害者雇用促進法43条第1項)



見直しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

<お問い合わせ先>

株式会社フレアス

03-6632-9210

✉ ir@fureasu.jp

